

1. 観光まちづくりによる「まちなかガイド事業」の推進

第2期大津市中心市街地活性化基本計画

【理念】「大津百町と琵琶湖を舞台とした暮らしと交流の創造都市へ」

【あるべき姿】

地域を主体とするまちづくりに取り組むことにより、そこに来訪者が集まり、交流し、刺激し合い、そのサイクルによって、自立的で持続的な都市を作り上げる

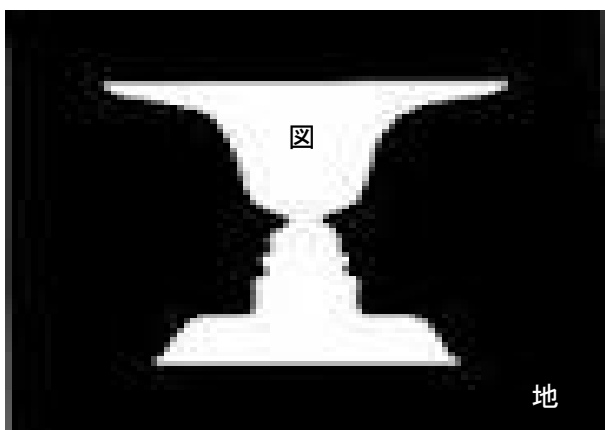
まちなかガイド事業

事業により生み出される効果

- ①事業に関わる地域の人たちが、そのよさを知り、地域に愛着や誇りをもつ（シビックプライドの醸成）
- ②多くの住民や商業者が関係することで地域のつながりができる（地域コミュニティ）
- ③まちづくりの関心を高め、まちづくりの担い手を生み出す
- ④他の中活事業（ハード、ソフト）と連携による効果的な取り組み（相乗効果）
- ⑤来訪者に対する質の高いサービスを提供でき、評価の高まりとともに、来訪者を増加させる（地域の魅力の向上）
- ⑥地域商店街との連携による経済的な消費を高める（経済循環）
- ⑦同手法を用いた他地域での事業化（先進性、中心市街地外への波及効果）

上記の理念を具現化する上での【あるべき姿】＝ 『地域を主体とするまちづくりに取り組むことにより、そこに来訪者が集まり、交流し、刺激し合い、そのサイクルによって、自立的で持続的な都市を作り上げる』は、

2001年12月の観光政策審議会の答申において『観光地づくりは、観光客のためだけに進めるわけではなく、住民がそこに住んで楽しい“まち”をつくり、その魅力を発信し、その結果がさまざまな人を呼び込み“まち”の魅力を共有していく活動をするのである。これを、“まちづくり”と“観光地づくり”を融合させ「観光まちづくり」とする』と定義されている。この『観光まちづくり』そのものである。



阪南大学吉兼教授「図と地の理論」より

《従来の観光地づくり》

左の壺にあたり、三井寺や近江神社などの名所旧跡を「みる」ことを主体にする観光

《観光まちづくり》

壺の周りの女性の横顔のように、名所旧跡の周りで支え暮らしてきた地域の人たちの、これまで見過ごしてきた身近な暮らし文化、人、食などを地域の魅力として、「する」、「しる」、「ひたる」の要素で価値創造する観光

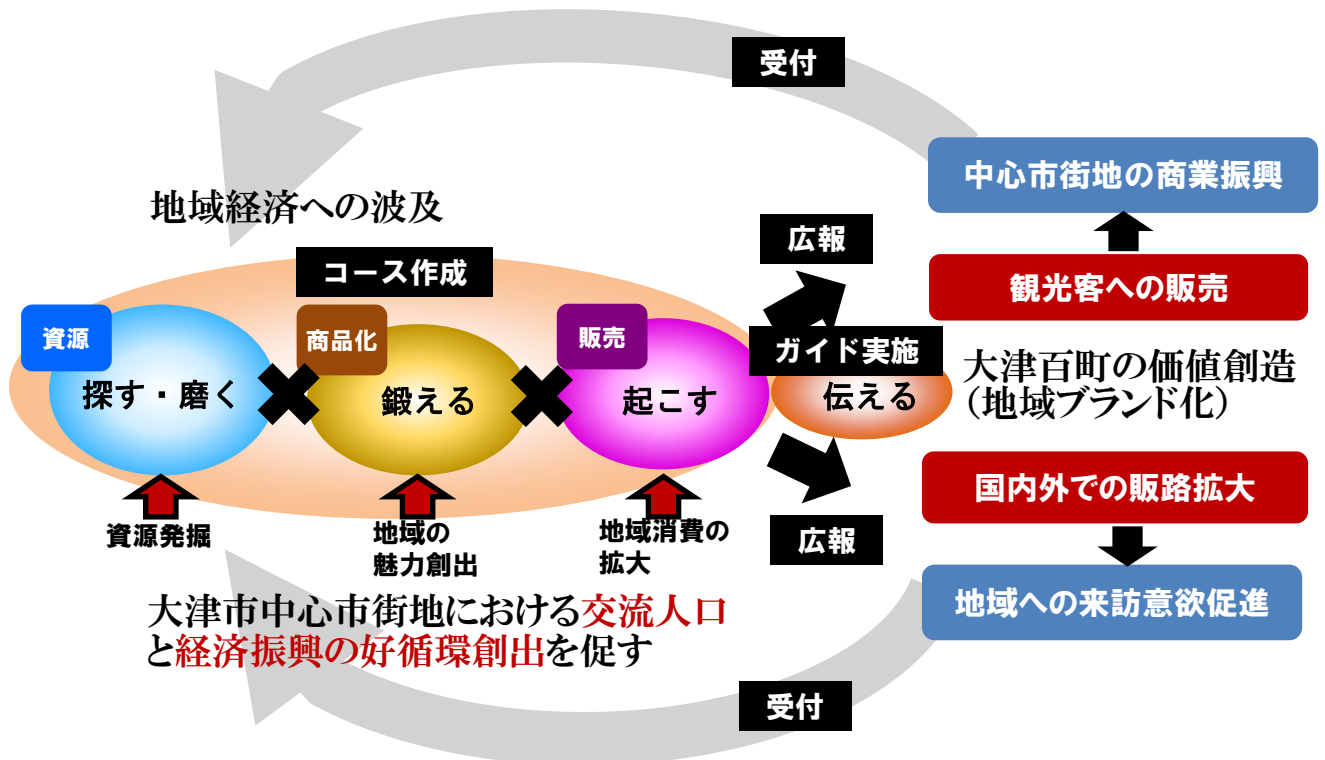
## 2. 観光まちづくりのプロセス

訪れる人が「大津百町」に居住しているかのごとく「ひたる」ように楽しむ観光まちづくりの展開は、地域に関わる「人」や「コト」と暮らしに根ざした資源を掛け合わせた観光スタイルの推進に取り組むことから生まれる。

この事業展開のプロセスは、

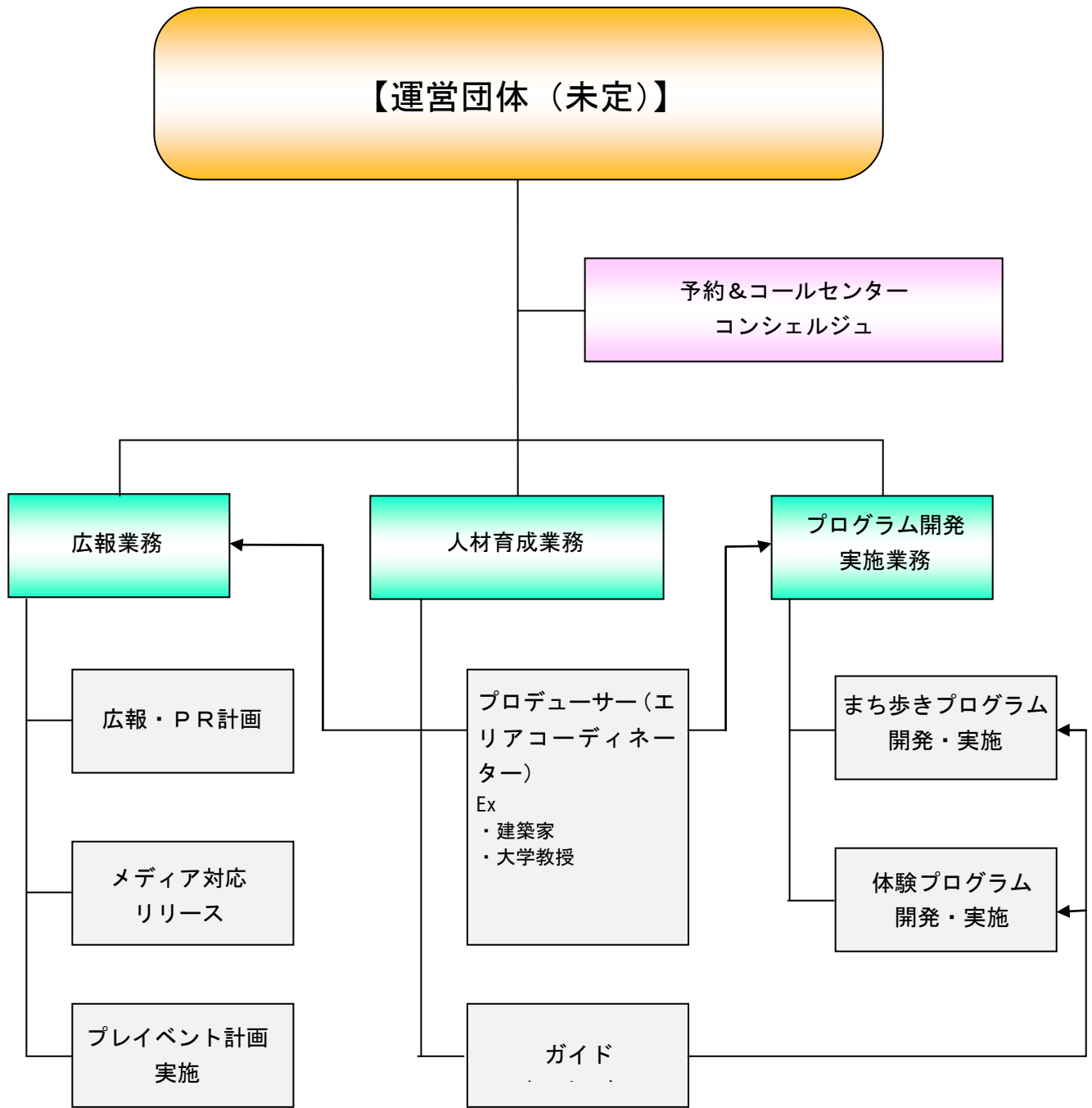
- 「大津百町」の魅力を創出する資源を宝として探し出し、訪れる人たちのニーズに堪えるように磨き、これを目録や暦、絵図として整理する →「探す・磨く」
- 磨いた資源の目録や暦、絵図を「人」や「コト」と共に組合せ、掛け合わせの妙により「大津百町らしさ」を付加した価値創造型観光コースを作成する →「鍛える」
- これまでの過程を巧みに脚色し観光商品として組立て、国内外の市場に向かって戦略的な広報を行い、作成コースに参加希望の人からの予約受付や問合せに応える →「起こす」
- 作成コースを通じて地域の人たちと訪れる人たちとの間にコミュニケーションを生み出し、それぞれの気持ちの距離を縮め、楽しさや思い出を共有し持ち帰ってもらえるようガイドする →「伝える」

である。



### 3. 観光まちづくりを推進体制モデル

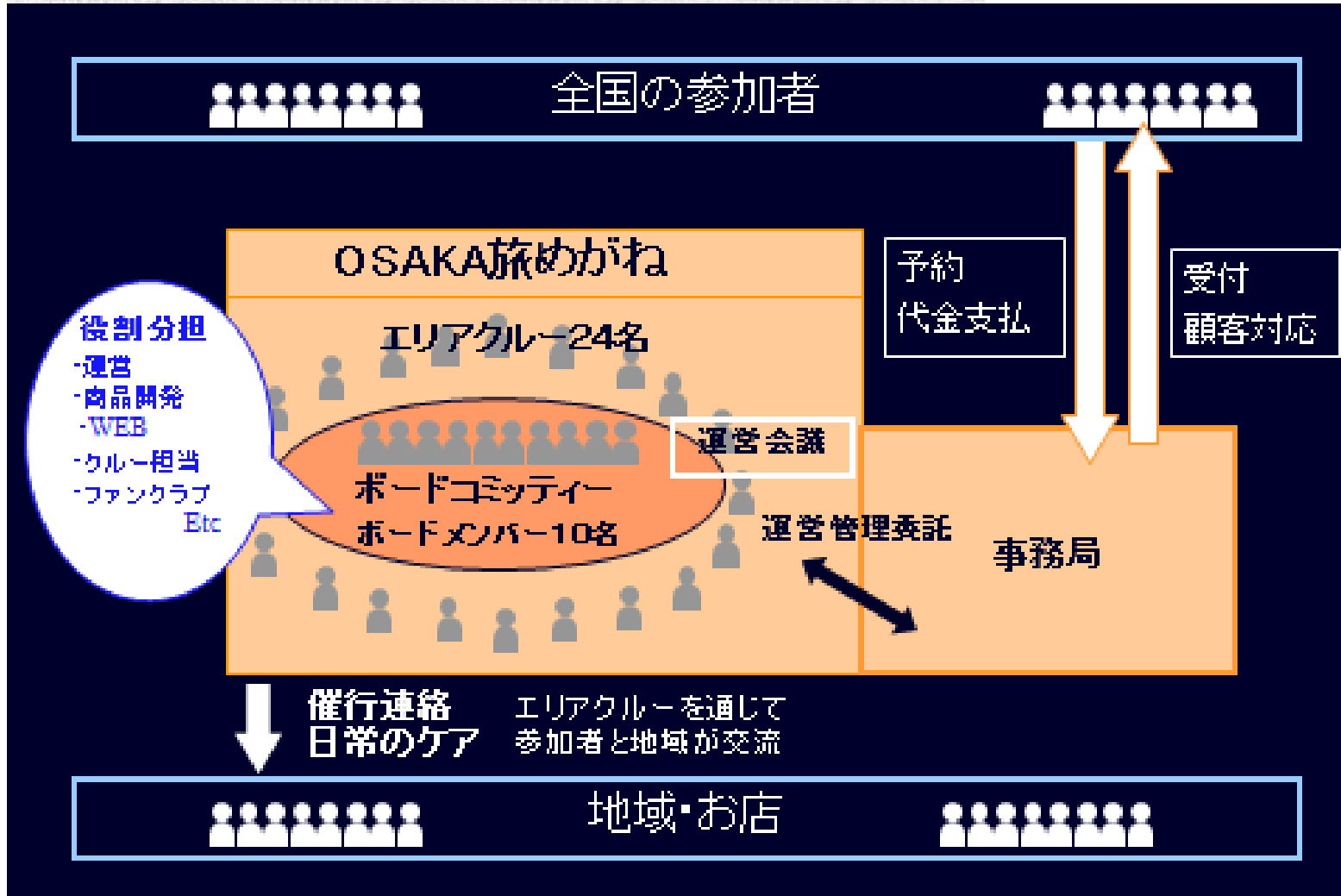
観光まちづくりを推進していくためには、次のようなモデル体制を整える必要がある。



事業実施モデル

～「OSAKA旅めがね」の事業推進体制モデル～

## 【OSAKA旅めがね】の仕組み



### 【構成】

- ：ボードコミュニティー  
10名
- エリアクルー  
24名

### 【役割】

- ：ボードコミュニティー  
運営、商品開発、WEB  
クルー担当、ファンクラ  
ブ など

- エリアクルー  
ガイド、旅程理管、危機  
管理 など

### 【事務局：委託】

- ：受付、顧客対応、予約、  
代金支払 など

### 【連携組織】

- ・もう一つの旅クラブ
- ・九条下町ツアー事務局  
など

#### 4. 観光まちづくりに取り組むに必要な事務・作業、課題（今後検討する事項）、課題解決の提案

フロー	必要な事務・作業	課題（今後検討する項目）	課題解決の提案	OSAKA旅めがねの事例
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">コース作成</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、実施しているコースの評価</li> <li>・ 地域の人たちと一緒に資源探しと資源カードに整理</li> <li>・ エリアやジャンル、対象、趣味嗜好が強い内容、一般的な内容などを振り分けし、全体的なバランスを確認しながらコースの絞込</li> <li>・ 関係先への取材</li> <li>・ 取材にもとづいたネーミング、キャッチコピー</li> <li>・ コースの確定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コース評価の指標</li> <li>・ コースを企画する仕組みの構築が弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コース開発ワークショップの開催</li> <li>・ ブランディングやデザインに関するワークショップの開催</li> </ul> <p>※各ガイドで独自コースを作成する仕組みとする場合には、ガイド育成プログラム内で対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統括ディレクターが監修</li> <li>・ コアメンバーによる企画</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">広 報</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロゴ公募、決定</li> <li>・ HPやFaceBookなど整備</li> <li>・ ポスター、チラシ、パンフレット、ガイドブックなど広報物の整備</li> <li>・ プレスリリース</li> <li>・ 広報媒体への出稿</li> <li>・ パブリシティの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報体制が未整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局経費の確保</li> <li>・ 事業事務局の立ち上げ</li> <li>・ 広報計画の策定と実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3種旅行業登録会社が事務局として担当</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">受 付</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コース予約受付</li> <li>・ ガイドや受入先への連絡</li> <li>・ 問合せ対応</li> <li>・ 作成ツールの出庫と在庫管理</li> <li>・ 緊急連絡対応</li> <li>・ ガイドからの報告記録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニュアルの整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局経費の確保</li> <li>・ 事業事務局の立ち上げ</li> <li>・ 受付業務計画の策定と実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3種旅行業登録会社が事務局として担当</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 0 auto;">ガイド実施</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入先との調整</li> <li>・ 時間と進行管理</li> <li>・ 参加者受付</li> <li>・ 参加者へのスケジュール説明</li> <li>・ コース及び立ち寄り先での説明</li> <li>・ 現場での危機管理</li> <li>・ イレギュラーな事項への対応</li> <li>・ アンケートの配布、回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人員の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイド育成プログラムの作成と実施（（仮称）まちなかガイド学部の設置）</li> </ul> <p>※育成対象は要検討（プロデューサー、ガイド）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旅程管理者研修</li> <li>・ ガイドテクニク研修</li> <li>・ 危機管理研修</li> <li>・ 現場研修</li> </ul>

### 5. 観光まちづくり推進に向けての基本的な流れ

